

事務事業名		道合大久保線道路新設事業			☒ 実施計画登載事業		☒ 合併建設計画登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都心環境の創造			事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造					会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備					01	08	02	03	29
根拠法令					☐ 単年度のみ ☐ 単年度繰返 (開始 年度～) ☒ 期間限定複数年度 【計画期間】  平成22 年度 ～ 平成26 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入						
所 属	部課名	都市整備部建設課									
	課長名	西山 春仁									
	係 名	土木係	電話	0192-27-3111							
	担当者	鈴木 得文	内線	319							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
現在、三陸町綾里大久保地域の住民は、主要地方道大船渡綾里三陸線から大久保地域を結ぶ道(通称:赤線)を通り生活しているが、三陸鉄道の非常に狭いガード(幅員2.2m高さ2.0m)があり、乗用車程度しか通行できない状況である。このことから、救急・救援活動が迅速に行うことができる体制を確保するため、道路整備を行うものである。なお、三陸鉄道のガードの改良が困難であることから、本路線の整備は、別の市道(大久保線)から大久保地域へ結ぶ計画とする。 平成22年度は測量調査設計(298m)を行い、平成23年度は平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により一時休止とした。平成24年度は用地買収(2,177㎡)、補償業務(立木、電柱)、工事施工(98m)を行った。平成25年度は用地買収(2,063㎡)、補償業務(立木、電柱)、工事施工(H26へ繰越:100m)を行った。平成26年度は用地買収(433㎡)、補償業務(立木、電柱)、工事施工(100m)を行い、本事業を完了する予定である。 事業費は、土地購入費、補償金、工事費として支出される。					総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金	89,249			
							都道府県支出金				
							地方債	56,300			
							その他				
							一般財源	3,302			
							事業費計(A)	148,851			
							人件費				
正規職員従事人数	8										
延べ業務時間	1,308										
人件費計(B)	5,232										
トータルコスト(A)+(B)	154,083										

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
用地買収(2,063㎡)、補償業務(立木、電柱)、工事施工(H26へ繰越:100m)		ア	用地買収面積
		イ	施工延長
		ウ	
今年度計画(今年度計画している主な活動)			
用地買収(433㎡)、補償業務(立木、電柱)、工事施工(100m)			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道道合大久保線		名称	
市道利用者		単位	
		カ	計画総延長
		キ	主たる利用者数(路線周辺の世帯数×1世帯当り平均人口)
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
(大久保地域に)緊急車両の進入が出来るようになる。		名称	
		単位	
		サ	十分な幅員で舗装された供用開始道路延長
		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
迅速で的確な救急・救援活動が出来る。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度						
		単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	千 円		28,298	19,501	41,450		
	財源内訳	千 円						
	都道府県支出金	千 円						
	地方債	千 円		17,800	12,300	26,200		
	その他	千 円						
	一般財源	千 円		1,066	701	1,535		
	事業費計(A)	千 円	0	47,164	32,502	69,185	0	0
	人件費	人		3	3	2		
	延べ業務時間	時 間		420	408	480		
	人件費計(B)	千 円	0	1,680	1,632	1,920	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千 円	0	48,844	34,134	71,105	0	0
⑤活動指標	ア	㎡	0	2,177	2,063	433		
	イ	m	0	98	100	100		
	ウ							
⑥対象指標	カ	m	0	298	298	298		
	キ	人	0	19	19	19		
	ク							
⑦成果指標	サ	m	0	98	98	398		
	シ	%	0	32.9	32.9	100.0		
	ス							

事務事業ID	1375	事務事業名	道合大久保線道路新設事業
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	救急・救援活動が迅速に行うことができる体制の確保を図るため、地域から道路整備を要望され、平成22年度から事業を開始した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	地域の理解が進み、協力的になった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	地域から、早期完成を強く要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価		
目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 道路整備により、救急・救援活動が迅速に行うことができる体制が確保されることから、安全なまちづくりの推進につながる。
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 地域に緊急車両が進入できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない。(年度ごとの実績はあるが、全区間整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない。)
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 迅速で的確な救急・救援活動ができない。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 個別事業であり、他に手段はない。 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

事務事業ID	1375	事務事業名	道合大久保線道路新設事業
--------	------	-------	--------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	地権者との交渉に不測の日数を要したため、下記事業について平成26年度に繰越した。 事業費:2,409千円 事業内容:工事施工100m																											
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)		(4) 改革・改善による期待成果																										
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成26年度完了に向け、事業を推進する。		左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																												
本事業によって新たな路線が確保され一定の成果が見込まれるが、新たな路線上にも三陸鉄道のガードがあり、既存箇所よりは広いもののボトルネックが解消されたとはいえない。																												

(職 名) ※原則として施策の主管課長		(氏 名)
2次評価者	建設課長	西山 春 仁

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合		(3) 評価結果の根拠と理由																										
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている ②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		地権者との交渉に不測の日数を要したため工事が繰越となったが、適切な事務執行がなされた。																										
(2) 2次評価者としての評価結果		(5) 改革・改善による期待成果																										
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり		左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)																										
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は他と重複不可)																												
☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 平成26年度完了に向け、事業を推進する。		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下	維持		×	×	低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		●	×																								
低下	維持		×	×																								
	低下																											

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項